

実施希望校募集中!!

無料

令和8年度 子供政策に関する出前授業のご案内

東京都では、様々な子供の声や思いに耳を傾け、子供政策を弾力的にバージョンアップしています。その取組の一環として、子供政策連携室の職員が子供政策に関する様々なテーマで、児童・生徒の皆さんに意見を聴きながら、出前授業を実施します。

また、自分の考えを他の人にしっかりとと言える子供は自己肯定感が高い傾向にあり、意見表明の機会は子供の健やかな成長にとっても重要な要素です。ぜひお申込みください。

対象

都内の小学校・中学校・高等学校（国・公立、私立の別は問いません。）

※テーマによって対象が異なります。

内容

8テーマの中からお選びください。

※テーマは次ページを参照ください。

1時限から実施可。事前学習は不要！

クラス単位・学年全体・グループ学習など、規模のご相談も可能です！

日程

学校の希望日程と各テーマの実施希望時期を踏まえて調整させていただきます。

申込 問合せ

お申込みやお問合せは、右記のLoGoフォームからお願いします。

※申込期限はございませんが、同時期に申込多数の場合等、

ご希望に沿うことが難しい場合がございます。あらかじめその旨ご了承ください。



申込みは
[こちら](#)

申込後 の流れ

日程調整

ご担当の方へご連絡させていただき、
日程を調整させていただきます。



事前打合せ（30分程度）

授業実施の1～2か月前を目途に
学校にお伺いして授業案をご説明いたします。



出前授業の実施

子供室の職員が授業を実施します。
※資料等は子供室で用意します

令和8年度出前授業のテーマ一覧

No.	テーマ	主な概要	対象	希望時期	(参考)教科等
1	子供が笑顔で過ごせる社会について考えてみよう！	「どんな社会であれば子供たちが笑顔で過ごせるのか」について主体的に考えてもらい、意見を聞く	小学校 (5年生・6年生) 中学校・高校	R8.9月～ 10月	総合(小・中) 国語表現(高)
2	子育てしやすい社会って？	少子化の現状や都の取組を説明した上で、子育てしやすい社会を考えてもらい、意見を聞く	中学校・高校	R8.10月～ 11月	総合(中) 国語表現(高)
3	とうきょうこどもアンケートから「いま」と「みらい」を考えてみよう！	小3・小5・中2・17歳を対象としたアンケートの結果を見てどう思うか考えてもらい、意見を聞く	小学校 (3年生・5年生) 中学校・高校	R8.5月～ 10月	総合/学級活動(小)
4	知ってる？やってる？「ユースヘルスケア」	ユースヘルスケア事業のWebコンテンツや広報等について意見を聞く	高校	R8.6月～ 12月	社会福祉基礎 (高)
5	身の周りで起こる事故について考えよう！	事故を防ぐための方策を考える機会にしてもらうとともに、事故予防の啓発物について意見を聞く	小学校・中学校	R8.6月～ 12月	総合(小)
6	ヤングケアラーについて考えよう！	ヤングケアラーについて理解してもらうとともに、Webコンテンツや広報について意見を聞く	小学校 中学校・高校	R8.9月～ R9.2月	総合(小) 社会福祉基礎 (高)
7	東京都こどもホームページのコンテンツを体験してみよう！	「東京都こどもホームページ」のWebコンテンツを体験してもらった上で率直な感想や意見を聞く	小学校 (4年生)	R8.7月～ 12月	社会(小)
8	Tokyo中高生Webサイトを体験してみよう！	「Tokyo中高生Webサイト」のWebコンテンツを体験してもらった上で率直な感想や意見を聞く	中学校・高校	R8.7月～ R9.2月	

※「教科等」は、R7年度の実施例になります。他の教科等の时限でも授業は可能です。

＜ご用意いただきたいもの＞

- ・子供室職員が持参するPCの画面を映せるプロジェクターやテレビ(HDMIケーブル)
- ・(テーマ7・8のみ) 児童・生徒が使用できるタブレットやPC ※児童・生徒の皆様にホームページを開いてもらう必要があるため

No.1

子供が笑顔で過ごせる社会について考えてみよう！

本授業は、「自分たちの住む東京を、自分たちにとってより良くするためにどうすればいいのか」について考えてもらい、生徒同士での意見交換や発表、子供政策を担当する都庁職員からのフィードバックを通じて、社会に対する興味・関心を深めてもらう内容です。

当室が作成する「こども未来アクション」（小学生版/中高生版）を使いながら、都の子供政策全般を幅広く理解して頂くとともに、聴きとった意見は都の子供政策のバージョンアップに活用していきます。

主な授業の流れ

※1コマ（45～50分）を想定
※内容や実施形態、実施コマ数は要相談

○ イントロダクション/こども未来アクション説明(10分)

- ・東京都の子供の意見を聞く取組の紹介
- ・子供に関する取組の基本的な考え方等の説明



▲こども未来アクション

○ こどもたちが笑顔で過ごせる社会について

考えてみよう(15～20分)
・個人ワーク／グループワーク

○ 意見発表 (10～15分)

○ まとめ (5分)

普段は友達同士でも「もっとこうなつたらいいのに」などの話はしないので、話し合いができる嬉しかった(中2)

子供たちから寄せられた感想



普段自分が言えないことも言えて、少しスッキリした(小6)

言うのは出来ても伝えるのが難しかったりするから、伝える機会を増やすべき。今回は東京都に直接伝てる感じがあって良かった(高校)

自分の意見を言うという授業で今までじぶんの気持ちを溜め込んでしまったこともあったと思うので良い機会になりました
(特支：中3)

No.2

子育てしやすい社会って？

生徒の皆さん将来直面するかもしれない「結婚」や「子育て」などのライフイベントを見据えながら、「望む人誰もが子育てしやすい社会」について考える授業を実施いたします。この授業は、生徒自身がライフデザインやキャリアプランを考えるきっかけになるとともに、社会課題に向き合い、グループで意見を交わすことを通じて、思考力や表現力を深める学びの機会にもなると考えます。

また、授業内で出た生徒の皆さんの意見は、東京都が進める少子化対策の参考とさせていただきます。

主な授業の流れ

※1コマ（45分）を想定
※内容は要相談

○ イントロダクション (3分)

- ・講師の自己紹介/子供政策連携室の紹介



○ 少子化の現状や要因、都の取組について (15分)

- ・少子化の現状や要因等について分かりやすく説明
- ・都の取組について紹介



○ 「望む人誰もが子育てしやすい社会」について (25分)

- ・個人でワークシートを作成
- ・グループを作り意見交換を実施し、グループごとに発表

○ まとめ・アンケート (2分)

子供たちから寄せられた感想



子育てに対し、不安を持たなくていい社会になると良いなと思った(中3)

自分が育児と関わるのはまだ先のことだと捉えていたが、他人事と考えず向き合うようにしたいと思った(高2)

とうきょう こども アンケートから 「いま」と「みらい」を考えてみよう！

「とうきょう こども アンケート」は、小3・小5・中2・17歳（高2相当）を対象に、毎年実施しているアンケートです。

アンケートの結果をみてもらい、同年代の子供たちが「いま」感じていることを共有し、「みらい」のためにどんなことに取り組んでいくべきかについて意見を聴くことで、子供たちの社会に対する興味・関心を深めるためのよい機会になればと考えております。

また、都の取組についての意見聴取は、東京都に直接意見を伝える機会となり、社会参加に繋がるのではないかと考えております。

主な授業の流れ

※1コマ（45分）を想定
※内容は要相談

- イントロダクション（3分）
 - ・講師の自己紹介/子供政策連携室の紹介
- アンケート結果について考えてみよう（25分）
 - ・アンケートの結果を説明
 - ・個人ワーク、グループディスカッション、発表
- 子供向け報告書等の都の取組についての意見聴取（15分）
 - ・講師から説明、個人ワーク、発表

※1学期に実施の場合は子供向け報告書について意見を聴く予定です。
2学期以降は、意見聴取の内容が異なりますので、ご相談させていただきます。
- まとめ・アンケート（2分）



↑子供向け報告書に出前授業で聴いた意見を紹介しています

グループで話し合って同じ意見の人と違う意見の人がいておもしろかったです（小5）

子供たちから 寄せられた感想



子どものことを考えてくれる組織があってちゃんと大事にされているんだなって思った（小6）

知ってる？やってる？「ユースヘルスケア」

「ユースヘルスケア」とは思春期特有の健康上の悩みを解消し、ユース（10代の子供・若者）の健康を増進するための取組です。

出前授業を通して、「ユースヘルスケア」事業について高校生に知つもらうことで、健康管理への意識を高めるきっかけになると考えております。

また、意見聴取を行うことで、自分たちの世代を対象とした東京都の施策について、行政に提案できるよい機会になるのではないかと考えております。

主な授業の流れ

※1コマ（50分）を想定
※内容は要相談

- イントロダクション（10分）
 - ・講師の自己紹介/「ユースヘルスケア」事業の概略を説明
- 事業紹介（10分）
 - ・普及啓発ホームページ
「TOKYO YOUTH HEALTHCARE」など、事業についての説明
- 意見共有（20分）
 - ・ユースヘルスケアの事業について、同世代により広く利用してもらうための取組（コンテンツ制作や広報展開等）についてのアイデアを考え、発表する
- ふりかえり、アンケート記入（10分）



↑ホームページ広報用チラシに今年の出前授業で聴いた子供の意見を取り入れています

自分の体は自分で守れるようにこれからヘルスケアに取り組んでいきたい（高1）

子供たちから 寄せられた感想



これからも出来るだけ子供達に寄り添って欲しいと思った（中1）

身の周りで起こる事故について考えよう！

校内など、身近なところで起こる事故への理解を深め、事故を未然に防ぐ方法を知つもらうとともに、都が制作する啓発物の内容やデザイン等に対して、児童・生徒の皆さんのご意見を伺います。

事故予防に関する新たな知識を得るだけでなく、教職員とは異なる立場の大人から学ぶ経験や、他者との対話を通じて考えを整理し、行政（社会）に対して意見を表明・提案する機会を持つことは、児童・生徒の皆さんにとって有意義な学びになるものと考えております。

主な授業の流れ

※1コマ（45～50分）を想定
※内容は要相談

- 講師紹介（2分）
- 「子供の事故予防ハンドブック」を用いて、学校での事故リスクについて考えてみよう（10分）
・グループディスカッション・発表
- 制作中の啓発物についての意見聴取（25分）
・講師より、制作中の啓発物について説明
・グループディスカッション・発表
- まとめ・アンケート（8分）



↑出前授業でお聴きした意見を啓発物のデザイン等に反映しました。

私たちの考え方や感じ方に合わせて動画やポスターを制作してくれて、嬉しかった（中1）

子供たちから寄せられた感想



よくけがをするので、今日学んだ「かえられるものをかえる」を意識してくらしたい（小6）

ヤングケアラーについて考えよう！

「ヤングケアラーって、実は身近なことかもしれない」

ヤングケアラーは、いつ誰がその状況になるか分からない性質の課題にも関わらず、当事者世代の認知度は「聞いたことはない」「聞いたことはあるがよく知らない」が依然として半数を占めています。

この授業を通じて、1人でも多くの方にヤングケアラーについて知つていただき、考えるきっかけとしていただくとともに、効果的な普及啓発に向けて、当事者世代の視点からの意見を伺いたいと考えております。

主な授業の流れ

※1コマ（50分）を想定
※内容は要相談

- ヤングケアラーについて知る（15分）
 - ・ヤングケアラーの定義や「お手伝い」との違いについて事例紹介
 - ・ヤングケアラーの割合、なぜ普及啓発が必要なのか説明
- 個人ワーク（5分）
 - ・HP「ヤングケアラーのひろば」を見てどのような情報があるといい？
 - ・友達がヤングケアラーかもしれない…気付いたら何ができる？
- ディスカッション・発表（20分）
- ふりかえり・感想記入（10分）
 - ・東京都のヤングケアラーに関する取組について紹介



↑出前授業の意見を踏まえて改良しています

子供たちから寄せられた感想



ヤングケアラーを初めて知りました。意外と多いことを知って驚きました（小6）

ヤングケアラーについて詳しく教えてもらって、当事者がどう思っているかなども知れて良かったなと思う（高2）

No.7

東京都こどもホームページのコンテンツを 体験してみよう！

直接子供に「東京都こどもホームページ」のコンテンツを使用してもらつた上で率直な意見や感想を聞き、改善点や今後の方向性等を検討し、よりよいホームページを目指していきたいと考えております。

また、授業等での「東京都こどもホームページ」の活用を促すため、作成したワークシートの使用感等について意見を聴き取りたいと考えております。

主な授業の流れ

※1コマ（45分）を想定
※内容は要相談

- イントロダクション（3分）
 - ・子供政策連携室の事業説明
- 「東京都こどもホームページ」概要説明（10分）
 - ・「東京都こどもホームページ」の概要を説明するとともに、主なコンテンツを紹介する
- 実践タイム（20分）
 - ・実際にコンテンツを体験してもらう（1コンテンツ10分×2を想定）
- まとめ・振り返り（7分）
 - ・ワークシートへの記入

子供たちから 寄せられた感想

遊び感覚でできて
わかりやすいし、楽しかった
(小4)



自分たちの地域の
コンテンツがあつたら楽しい
(小4)

No.8

Tokyo中高生Webサイトを体験してみよう！

直接、中高生に「Tokyo中高生Webサイト」の概要を説明することで、ターゲットである中高生に本Webサイトを認知していただきたいと考えております。

また、「Tokyo中高生Webサイト」のコンテンツを使用してもらつた上で率直な意見や感想を聞き、改善点や今後の方向性等を検討し、よりよいホームページを目指していきたいと考えております。

主な授業の流れ

※1コマ（50分）を想定
※内容は要相談

- イントロダクション（2分）
 - ・子供政策連携室の事業説明
- 「Tokyo中高生Webサイト」の概要説明（10分）
 - ・Webサイトの概要、本日のねらいについて説明
 - ・コンテンツの紹介
- 実践タイム①★AIコンテンツ（英会話）（15分）
 - ・英会話コンテンツに挑戦してもらい、感想を数人から手を挙げて発表してもらう
- 実践タイム②★自由に触ってみよう！！（15分）
 - ・Tokyo中高生Webサイトを自由に触ってもらい、感想を数人から手を挙げて発表してもらう
- まとめ・振り返り（8分）
 - ・ワークシート（アンケート）へ記入